

平成27年10月19日

## 四国地域の経済動向（概要） （平成27年8月分）

～四国地域の経済は、一部に弱い動きがあるものの緩やかな持ち直しの動き～（↘）  
（緩やかながら持ち直しの動き）

**生産**（↘）鉱工業生産は、一進一退で推移している。（緩やかな持ち直しの動き）  
鉱工業生産指数は、前月比が3カ月ぶりの低下となった。

**個人消費**（↗）個人消費は、弱いながらも持ち直しの動きがみられる。（弱いながらも一部に持ち直しの動き）  
百貨店・スーパー販売額（全店）は、5カ月連続で前年を上回った。  
コンビニエンスストア（全店）の販売額等は、30カ月連続で前年を上回った。  
家電販売は、パソコンなどで前年を下回ったものの、エアコン、冷蔵庫などの品目が前年を上回ったことから、全体では3カ月ぶりに前年を上回った。  
乗用車新車新規登録・届出台数は、軽乗用車が前年を下回ったことから、全体では8カ月連続で前年を下回った。

**住宅投資**（→）新設住宅着工は、持ち直しの兆しがみられる。  
新設住宅着工戸数は、持家、分譲住宅が前年を下回ったものの、貸家が前年を上回ったことから、3カ月連続で、前年を上回った。

**倒産**（→）企業倒産は、落ち着いた動きであるものの、今後の動向に注視が必要である。  
倒産件数は前年同月比で5カ月連続、前年を下回り、負債総額は2カ月ぶりに前年を下回った。

**雇用**（↗）雇用情勢は、緩やかに改善している。（改善しているものの一服感）  
有効求人倍率は2カ月連続で上昇し、一般新規求人数は13カ月ぶりに前年を上回った。

**公共工事**（↘）公共工事は、やや弱い動きがみられる。（増加の動きに一服感）  
公共工事請負金額は、2カ月ぶりに前年を下回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。（ ）内は前月の基調判断を記載している。

### 【四国の経済指標】

平成27年 8月

	四 国		全 国			
	前月比 (%)	前年同月比 (%)	前月比 (%)	前年同月比 (%)		
鉱工業生産指数 （平成22年=100、季節調整済 前年同月比は原指数）	96.8	▲ 8.4	▲ 0.9	97.0	▲ 0.5	0.2
鉱工業出荷指数（〃）	96.5	▲ 7.3	5.7	95.7	▲ 0.5	0.8
鉱工業在庫指数（〃）	104.3	1.8	1.5	114.1	0.4	2.2
百貨店・スーパー販売額（単位：億円）（全店）	429		2.8	16,057		2.6
			2.2			1.8
乗用車新車新規登録（単位：台）	8,295		▲ 4.6	271,378		▲ 3.5
・届出台数						
新設住宅着工戸数（単位：戸）	1,838		3.3	80,255		8.8
輸出通関額（単位：億円）	714		27.1	58,818		3.1
輸入通関額（単位：億円）	1,124		6.3	64,512		▲ 3.1
企業倒産件数（単位：件）	12		▲ 20.00	632		▲ 13.06
有効求人倍率（季節調整済）	1.22	（前月差	0.03）	1.23	（前月差	0.02）
電力需要（大口需要）（単位：百万kWh）	611		▲ 1.4	21,940		▲ 2.0
公共工事請負金額（単位：億円）	509		▲ 13.9	11,132		▲ 1.3

（本発表資料のお問い合わせ先）  
四国経済産業局総務企画部調査課長 岡  
担当者：岡崎専門職  
電 話：087-811-8509（直通）  
URL：<http://www.shikoku.meti.go.jp/>

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。

# 管内経済指標の推移

